

巻頭言

日本食品安全協会教育協議会をたちあげました

— しっかりしたリスクコミュニケーターを教育現場から育てる —

国力は国民の知的レベルの平均値の高さに依存するのが一般的である。明治維新以降の日本の急速な発展の陰に義務教育制度の徹底が挙げられている。従って知的レベルの基本はまず「読み書き、そろばん」であることは言うまでもないが、国際社会の中でしっかりとした国としてやってゆくには、さらにその社会性生活の在り方に関する様々の分野のリテラシーがどんなレベルであるかに依存する。

国民のリテラシー向上のため当協会が取り組めるのは「食品と薬の機能、健康そして安全の一般常識に関するリテラシーの向上」である。現在の日本にまかり通っている食の意識は「昭和の頃の安全意識」である。食の分野における健康食品に関する情報不足、無添加食品安全思想の蔓延、ゲノム編集食品、プラントベース食品に対する取り組みの著しい遅れなどはその一例である。SDGsの観点からみても「人類がエネルギーロス少なく安全で健康な食生活を送る」のが最重要課題であるにも関わらずこのような状態となっている大きな原因の一つは消費者の食の機能とその安全意識が昭和時代にあるからと考えられる。

その一方で、保健機能食品の現状を見ると、従来のトクホと栄養機能食品に加え平成27年に機能性表示食品制度がスタートいたし、2月4日時点でその届け出は5022品目に至っており、その数は健康機能の種類も含めて、トクホを大きく上回っている。その品目の形態としても錠剤カプセル型から一般加工食品、そして生鮮食品にまであり、いわゆる健康食品の世界にいてゆるぎない地位を確保し始めている。

このような保健機能食品を健康な食生活のために適切に使用することは国民全体の健康な生活に大きく貢献することは間違いないが、一步誤れば逆に健康障害、経済的被害等の原因ともなりかねない。こんな状況下において一般市民の方々に適切なアドバイスのできる人材は社会のあらゆる部署に必要である。市民の一人一人がしっかりした食と健康に関する知識を有し、実践することは多くの人々が病気にならない、言い換えれば健康に生活することができることにつながる。

実際内閣府の昨年の閣議決定事項として、「保健機能食品及び特別用途食品については、その制度を適切に運用するとともに、消費者及び事業者に対し、積極的な普及啓発を行い、理解促進を図る。」と言うことが明言され、それに向けたことが消費者庁でも開始されている。さらに今回の改正食品衛生法において指定成分の制度が設けられ、健康食品の成分に関する新たな規制もスタートした。このことはとりもなおさずしっかりした保健機能食品および健康食品に関するリスクコミュニケーターの存在の重要性が大きくなっていることの証である。

当協会は平成14年厚生労働省が出した保健機能食品のアドバイザースタッフの養成に関する通知に基づき健康食品管理士認定協会として発足し、途中で日本食品安全協会と名称変更し、本年で17年目に入り、認定者は既に1万2千人を超えている。この協会はもともとこのように教育界の有志によって立ち上げられ、運営されてきている。

当協会としては認定者の社会活動を支え、資質の向上を図るために健康食品管理士管理士会を発足当初から運営してきたが、もう一つ重要な認定者養成の教育の場をしっかりとさせるために、

この度教育協議会を発足させることとなった。昨年の夏から岐阜薬科大学の北市教授にその準備委員長となって頂き、数名の準備委員の先生と加藤亮二総務委員長の計らいで規定が作成され、北市教授を初代会長として発足させるところまでこぎつけた。

教育界がこのように纏まることにより健康食品管理士とともに協会の大きな2本柱ができることを力強く感じる次第である。今後、今まで以上に社会貢献できる管理士の養成にご助力頂くことを期待いたしまして挨拶とさせていただきます。

(一社) 日本食品安全協会 理事長 長村洋一

【管理士会共催】令和3年度 教育協議会発足記念講演会のご案内

日本食品安全協会は教育機関の連携を深めながら、食の問題に取り組むため、認定校を母体とした教育協議会を新たに発足させました。今回は、その発足を記念し、東京大学名誉教授 唐木英明氏、厚生労働省食品基準審査課 今川 正紀氏、消費者庁 食品表示企画課 新井 剛史氏をお招きして記念講演会を開催することとしました。健康食品管理士/食の安全管理士の皆様、食の安心安全に関わる皆様、認定校の教員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

記

日時 令和4年3月13日(日) 13時~16時

方法 オンライン (Zoom) およびオンデマンド配信 (管理士会会員のみ、令和4年4月30日まで公開予定)

講義中にキーワードを2つ申しあげます。講義終了後、Google フォームより入力をお願いいたします。こちらの入力をもって参加確認とさせていただきます。

<教育協議会発足記念講演会プログラム>

(敬称略)

司会 日本食品安全協会教育協議会副会長 琉球大学教授 和田 浩二

1. 挨拶 (13:00~13:20)

(1) 会長挨拶

日本食品安全協会教育協議会会長 岐阜薬科大学教授 北市 清幸

(2) 祝辞

日本食品安全協会理事長 前鈴鹿医療科学大学副学長 長村 洋一
健康食品管理士会長 関西大学教授 長岡 康夫

2. 講演1 (13:20~14:30 10分の質疑を含む)

演題「深刻になるフェイクニュースとの闘い」

食の安全・安心財団理事長、東京大学名誉教授

日本食品安全協会顧問

唐木 英明

3. 休憩 (10分)

4. 講演2 (14:40~15:20)

演題「指定成分等含有食品の制度発足とその後」

厚生労働省食品基準審査課 新開発食品保健対策室 室長 今川 正紀

5. 講演3 (15:20~16:00)

演題「保健機能食品制度の現状と課題」

消費者庁 食品表示企画課 課長補佐

新井 剛史

・参加単位：5単位（研修会参加単位として）

参加される方によって申込み方法が異なります。詳しくは次ページよりご確認ください。

I 健康食品管理士の方（参加費：無料）

（1）オンライン形式へ参加される方(当日参加)

◆申込み方法
下記の事項明記の上、メールにてお申込みください。当日のURL、パスワードをご案内いたします。 ・メール件名：「3月13日研修会オンライン参加希望」 ・メール本文：「氏名」、「会員番号」、「メールアドレス」 ・宛先：info@jafsra.or.jp
◆申込み締切
2022年3月9日（水）
◆単位認定方法
出席確認のため、Googleフォームへご回答いただきます。 当日のURLと一緒に送るGoogleフォームにて講演者がお伝えするキーワード2つを回答し、送信してください。 回答した方から順次単位を認定します。 (※システムの都合上、単位認定日付はオンデマンド配信終了日としますのでご容赦ください。)

（2）オンデマンド形式へ参加される方(録画聴講)

◆申込み方法
個人ページに入り、「研修会等の開催日と単位申請」より録画を聴講ください。 研修会名：「教育協議会発足記念講演会（2022年3月13日開催オンラインセミナー及びオンデマンド配信）」
◆単位認定方法
出席確認のため、Googleフォームへご回答いただきます。 録画配信のリンクと同じ詳細情報に掲載しているGoogleフォームにて講演者がお伝えするキーワード2つを回答し、送信してください。回答した方から順次単位を認定します。 (※システムの都合上、単位認定日付はオンデマンド配信終了日としますのでご容赦ください。)

II NR・サプリメントアドバイザー及び食品保健指導士の方（参加費：無料）

(1) オンライン形式へ参加される方(当日参加) 参加費：無料

◆申込み方法
下記の事項明記の上、メールにてお申込みください。当日のURL、パスコードをご案内いたします。 ・メール件名：「3月13日研修会オンライン参加希望（アドバイザースタッフ）」 ・メール本文：「氏名」、「会員番号」、「メールアドレス」 ・宛先：info@jafsra.or.jp
◆申込み締切
2022年3月9日（水）

NR・サプリメントアドバイザー及び食品保健指導士の方は当日参加のみ受付いたします。
尚、講演会に参加された場合の単位互換は今回はございませんのでご了承ください。

III 一般の方（参加費：無料）

(1) オンライン形式へ参加される方(当日参加) 参加費：無料

◆申込み方法
下記の事項明記の上、メールにてお申込みください。当日のURL、パスコードをご案内いたします。 ・メール件名：「3月13日研修会オンライン参加希望（一般）」 ・メール本文：「氏名」、「メールアドレス」 ・宛先：info@jafsra.or.jp
◆申込み締切
2022年3月9日（水）

一般の方は当日参加のみ受付いたします。

お問い合わせ先：(一社)日本食品安全協会事務局
TEL:059-381-1510
Mail:info@jafsra.or.jp